

提 案 理 由 説 明

令和2年12月2日

本日ここに、第4回定例会を招集いたしましたところ、議員各位にはご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

1. 各種報告について

それでは、提案理由の説明に先立ち、市政に関する諸般の報告を申し上げます。

まず、うれしい御報告を4件申し上げます。

(株式会社エイチワン安全祈願祭)

11月27日の第2回臨時会でもご報告いたしましたが、新型コロナウイルス感染症の流行で、全国的に経済の低迷が続いている中、本市の大分北部中核工業団地に、さいたま市に本社を置く自動車部品メーカーの「株式会社エイチワン」が立地を表明し、昨日、豊後高田工場の安全祈願祭が執り行われました。

同社は東証一部上場で、国内10事業所・海外14拠点において自動車フレーム等の製造を行っている、たいへんグローバルな会社でございます。来年12月の操業開始を予定されており、従業員は、現地雇用を含め60人体制とお聞きしております。

今後、本市における更なる雇用の確保や産業振興の面などにおいて、活力ある経済発展をもたらしていただけるものと期待しているところでございます。

(真玉海岸 国の名勝登録)

2件目ですが、去る11月20日、恋叶ロードの主要スポットである真玉海岸が文化審議会の答申を受けまして、国の登録名勝に登録される運びとなりました。海に関する景勝地が登録されるのは、沖縄

県以外では初めてということでもあります。

ご案内のように真玉海岸は、縞模様の干潟に落ちる夕陽が壮大で、「日本の夕陽百選」や「おおいた遺産」に選ばれ、映画「ナミヤ雑貨店の奇蹟」では、門脇 麦さんが主題歌に乗せて踊るバックとして紹介されたことなどにより、市外から多くの観光客や若いカップル、写真愛好家の方々にお越しいただいております。そのような中、今回の登録は、国道213号「恋叶ロード」の更なる観光浮揚につながる大変喜ばしいものであると思っております。

ご尽力を賜りました県や地元関係者の皆様に、深く感謝を申し上げます。

今後におきましても、本市の宝であるこの美しい景観を後世に引き継ぐため、環境保全はもとより、他の市内名勝地との連携を図りながら地域全体の交流人口の増に努めてまいりたいと考えております。

(2020年度 ラジオ体操優良団体等表彰を受賞)

3件目ですが、株式会社かんぽ生命保険、NHK、NPO法人全国ラジオ体操連盟が実施した「2020年度 ラジオ体操優良団体等表彰」で、本市は、「府県等表彰」を受賞いたしました。これは、市民の健康づくりを推進する目的で、市をあげて、平成22年から始めた「ラジオ体操」の取組みが高く評価されたものであります。

人生100年時代とも言われている中で、健康寿命の延伸は施策の中核であり、ラジオ体操には健康づくりとともに地域コミュニティを高める効果のあることが分かっております。本市の人口推計では、2025年頃から、いわゆる“団塊の世代”が後期高齢者の年齢に達し、医療や介護などの社会保障費の増が懸念されるところであります。

健康づくりにおいて一番大切なことは継続することです。今後とも市民の皆様のご健康第一で、ラジオ体操をはじめ、ウォ

ーキング等の推進に励んでまいりたいと考えております。

(本市の人口動態、住みたい街自治体ランキング大分県版第3位)

4件目は、人口動態等についてであります。

ご案内のとおり、本市は、6年連続で社会増が続く状況となっております。今年も、11月末時点において34人の社会増となっております。令和2年度の移住実績は、昨年同時期と比較して11世帯・38人の増加であります。

年明け早々から新型コロナウイルスの感染拡大が続いた今年は、4月に全国を対象とした緊急事態宣言が発せられ、人の移動が制限されるなど、新型コロナウイルスに翻弄される年でありました。こうした状況下でありながらも、子育て支援や教育のまちづくりをはじめ、これまでしっかりと取り組んできた本市への評価により、今年度におきましても、社会増・移住者増の流れを継続できるのではないかと期待しているところであります。

また、東京に本社を置く「大東建託株式会社」が10月に発表した居住満足度調査では、豊後高田市は、大分市、別府市に次いで第3位にランクインしております。

この調査は、「住みたい街 自治体ランキング 大分県版2020」というもので、県内在住のおよそ1,300人の回答を「住みたい街」として集計し、「その街をどのように感じているか、居住満足度を明らかにすることで、住まい選びをより最適なものにすること」となっております。

近年、移住先として全国から注目されている本市ではありますが、実際に住んでいる我々を含め、県内在住の多くの方々からも「住みたい街」として高い評価をいただいていることに、大変うれしく思っております。本市は、「静かさや治安、自然・観光、物価」の面

で評価が高く、特に「自然・観光」では九州でも第7位にランクインされているようであります。

このような要素も踏まえ、今後の人口増施策に努めてまいりたいと考えております。

(商業・観光振興について)

次に、商業・観光振興についてでございます。

昭和の町の持続的な振興、新規創業者の育成及び地域経済の発展に向けて整備を行っている旧大分銀行跡地の拠点施設整備、そして旧安東薬局の再生につきましては、順調に工事の方も進んでおります。来年2月の完成を目指し、今後、入居者の募集を経て、審査・選定を行ってまいります。

来年、昭和の町は20周年を迎えます。新たな拠点施設のオープンやそれに伴う各種イベント等を開催し、商店街の皆様をはじめ、地域の方々と一体になって、昭和の町の更なる発展に努めてまいる所存であります。

(文化の日に豊後高田市功労者表彰式)

次に、功労者表彰についてでございます。

例年、豊後高田市の記念日「豊後高田 昭和の町の日」に開催しておりました功労者表彰式を、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来賓の人数も縮小させていただく中、11月3日の文化の日に執り行いました。

今年は、自治委員や納税組合長、そして浄財のご寄附等をしていただいた9名・3団体の皆様方に対しまして、感謝を込めて表彰させていただいたところでございます。

(新型コロナウイルス感染拡大防止等に関する支援)

次に、新型コロナウイルス感染拡大防止等に関しまして、本市で取り組んでいる支援策の進捗状況についてでございます。

まず、長引く感染症対策等に要する市民の皆様の経済的な負担を軽減するために実施した、市民一人に1万円、高齢者等の方には1万5,000円を給付する本市独自の「定額支援金」第2弾であります。給付対象者のうち1万827世帯・2万2,460人、率にして現在約99.9%の方への給付が完了しており、給付総額は、2億7,059万円になっております。

また、停滞する地域経済を活性化するために発行した総額3億6,000万円の「プレミアム商品券」第2弾につきましては、10月28日の発売直後から市民の皆様のご協力をいただき、順調に販売を延ばすことができました。間もなく完売する状況となっております。

「Go To Eatキャンペーン」で、25%のプレミアムが付いた「おおいた味力食うぽん券」は、豊後高田商工会議所、西国東商工会、トキハイダストリー豊後高田店で販売されております。感染予防対策に取り組みながら頑張っている市内の飲食店や食材を供給される農林漁業者を応援するため、多くの皆様にお買い求めいただき、市内で消費していただければ大変ありがたいと思っております。

さて、新型コロナウイルスの状況でございますが、国内での新規感染者の増加が強まり、1日当たりの陽性者数や重傷者数が過去最多を更新するなど、特に、北海道や首都圏、関西、中部地方などでその傾向が著しくなっております。大分県内においても11月6日から「第3波」とみられる感染者が増え続け、突発的なクラスターが発生し、また、感染経路の不明者や病床の利用率が上昇し、感染レベルは、医療への負荷が蓄積しつつある「ステージ2」へ移行したと考えられる状況であります。

このような中、1月3日に予定しておりました成人式でございま

すが、新型コロナウイルスの全国的な感染状況や大分県内でも増加傾向が止まらない状況にあり、市が率先して「市民を守る・地域を守る」といったことが必要であると思います。そこで、新成人の皆さんや保護者の皆様、関係者の皆様には、大変ご迷惑をおかけいたしますが、残念ながら延期の判断をさせていただきます。何とぞ、ご理解をお願い申し上げたいと思っております。

これから本格的な冬場を迎えるにあたり、新型コロナウイルスは、気温18度未満、湿度40%未満になると感染リスクが高くなると言われております。窓を開けての換気とともに適度な保湿にもご留意していただくようお願いいたします。

また、市内経済は、依然として厳しい状況であります。国の方針にもあるように、感染対策をしっかり講じることを大前提に、年末の帰省や飲食を含めた社会・経済活動と両立させて、経済を回復させていくことが基本的なあり方であると考えておりますので、市民の皆様におかれましては、飲食を伴う長時間に及ぶ懇親会やマスクなしでの会話、狭い空間での共同生活など、感染リスクが高まる場面に注意し、改めて3密の回避など、基本的な感染対策を徹底していただくよう、心からお願い申し上げます。

2. 提出議案等の説明

それでは、本定例会に提案いたしました議案等について、その大要をご説明申し上げます。

(予算関係の議案)

第66号議案の令和2年度一般会計補正予算（第6号）につきましては、1億2,685万6,000円の増額で、補正後の予算総額は、189億8,245万6,000円となります。

新型コロナウイルス感染症対策に関連する補正予算の主な内容につきましては、まず商工費では、国のG o T o商店街事業を活用し

てイベント開催など商店街の活性化に取り組む豊後高田市商店街連合会への支援経費、感染拡大の影響により収支が悪化している夷谷温泉、並石ダムグリーンランド及び鬼会の里に係る指定管理料を計上しております。

教育費では、修学旅行のキャンセル料等の助成経費を計上しております。

次に、通常分といたしまして、総務費に、令和元年度決算剰余金の基金法定積立て、過年度国県支出金精算償還金を計上しております。

民生費では、サロン活動拠点の環境整備に対する支援経費、国民健康保険特別会計や介護保険特別会計への繰出金などを計上しております。

衛生費では、小規模給水施設の整備事業費、農林水産業費では、台風で被災した園芸・畜産施設の復旧に係る支援経費、白ネギ等の価格安定事業負担金、有利な地方債を活用した農業水路の保全対策費を計上しております。

商工費では、昭和の町創業支援施設での新規出店に対する助成経費、消防費では、県内全域による消防通信指令業務共同運用について、令和6年度の供用開始に向け、システム基本設計に係る負担金を計上しております。

災害復旧費では、台風10号により被災した学校施設の災害復旧経費を計上しております。

このほか、各費目に給与改定や人事異動等に伴う人件費の補正を計上しております。

また、資源ごみ再生業務委託料、焼却灰リサイクル委託料、ビン類等再資源化委託料、市営住宅に係る管理代行委託料及びクリーンセンターなどの公共施設に係る指定管理料について、債務負担行為予算を計上しております。

第67号議案の令和2年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）につきましては、過年度分の保険給付費等交付金に係る精算償還金を計上しており、2,178万1,000円の増額で、補正後の予算総額は、33億3,193万6,000円となります。

第68号議案の令和2年度介護保険特別会計補正予算（第1号）につきましては、システム改修費、決算剰余金の法定積立て、過年度国県支出金精算償還金及び過年度低所得者保険料軽減負担金の精算による一般会計繰出金を計上しており、2,178万9,000円の増額で、補正後の予算総額は、28億104万5,000円となります。

第69号議案の令和2年度水道事業会計補正予算（第1号）につきましては、給与改定及び人事異動等による人件費の調整額を計上しており、54万1,000円の増額で、補正後の予算総額は、2億9,767万円となります。

（予算関係以外の議案等）

次に、予算以外の議案等についてでございますが、各議案の末尾に提案理由を付しておりますので、主なものについてのみ、ご説明申し上げます。

第70号議案から第82号議案までにつきましては、公の施設の指定管理者の指定について、議決を求めるものでございます。

第88号議案の豊後高田市災害復旧事業分担金徴収条例の一部改正につきましては、法律の適用を受けて実施する災害復旧事業に関し、農地に係る受益者分担金の割合を、10分の6から100分の15へ軽減し、その他の施設については分担金の徴収の対象から外すため、所要の規定の整備を行うものであります。

第89号議案の豊後高田市急傾斜地崩壊対策事業分担金徴収条例の一部改正につきましては、高さ3メートル以上5メートル未満で行う急傾斜地崩壊対策事業に関し、受益者分担金の割合を100分の30

から100分の15へ軽減するものであります。

第90号議案の豊後高田市漁港管理条例の一部改正につきましては、プレジャーボート等の漁港内での係留を指定するエリアに限定し、かつ、許可を要するものとする事で放置艇を解消し、漁港の適正な管理を行うものでございます。

第91号議案及び第92号議案につきましては、豊後高田昭和の町の持続的な振興、新規創業者の育成、地域コミュニティの育成及び地域経済の発展に資するため、新たに「昭和の町創業支援施設」及び「交流施設」を設置するものであります。

第94号議案につきましては、定住促進無償宅地の都甲住宅団地に、給水施設を設置することに伴い、所要の規定の整備を行うものでございます。

以上で、本定例会に提出いたしました議案等について説明を終わりますが、何とぞ慎重審議の上、ご協賛賜りますようお願い申し上げます。